

生涯学習課では
盛岡市家庭教育通信
「はぐ便り」を
1～2カ月に1度発行して
います。盛岡市ホームページ
にも掲載していますので、
「はぐ便り」で検索して
みてくださいね。

『はぐ便り』
は、こちらから▼



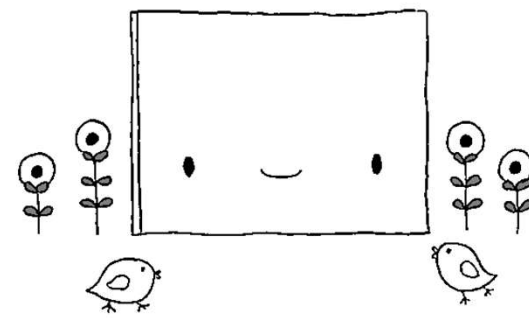
子育てに関する
情報が
盛りだくさん！



はぐっぴ はぐみい

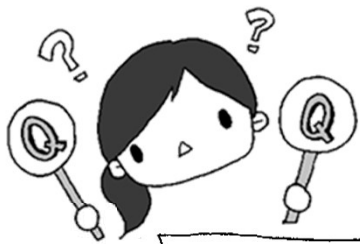
もうすぐ会える 赤ちゃんへ
絵本のよみかかせを
しませんか？

🌿 パパママよみかかせリーフレット 🌿



盛岡市教育委員会 生涯学習課


「よみきかせて、必要なの？」



「大きくなってからでいいよね？」

よみきかせは、親子のコミュニケーションの場です。

お子さんをひざに抱いて、お互いのぬくもりを感じながら、同じ本を楽しみ、共有する読み聞かせは、親子の最高のコミュニケーションの場です。優しく温かい声で読めば、上手でも下手でも大丈夫！絵本は、読む人の好きなものでOK。お子さんとおはなしをしながら、一緒に絵本の世界を楽しみましょう。



声は生まれる前から赤ちゃんに届いています。

① 赤ちゃんの脳は、生まれる前にほぼ形成されていて、お母さんの感情を読んでいるそう。妊娠中によみきかせをすると、お母さんの穏やかな気持ちが伝わり、赤ちゃんは喜びます。温かい声も、心地よく聞いているそうです。

② 赤ちゃんが生まれ、お母さんが少し落ち着いた頃、よみきかせをしてみると…。赤ちゃんには、絵やストーリーはわかりません。しかし、お腹の中で聞いたのと同じ、温かいお母さんの声を、心地よく感じるそうです。

CHECK!

③ 妊娠中のよみきかせは、家族のあたたかな時間を育み、赤ちゃんの心の成長にも良い影響があるといわれています。

④ お母さんだけでなくお父さんや家族の声を聞く時間は、赤ちゃんの安心感につながります。

⑤ 反応がないからと諦めず、くり返し同じ本を読んでいると…。数か月後には、同じところで反応し、更に経過すると、「お話を読んでもらうこと」が楽しくなり、もっと読んで！という動きをするという研究結果があるそうです。

よみきかせをすると☆

① 感受性豊かになる
おうちの方が楽しみながら読み聞かせをすることで、赤ちゃんは声のやさしい響きや表情の変化を通して、気持ちを感じ取ります。こうした経験を重ねることで、少しずつ人の気持ちに気づき、思いやりの心が育っていきます。

② 想像力が育まれる
色や形のはっきりした絵本を見ることが、お話を聞くことが、赤ちゃんの「感じる力」を育てます。

③ 語彙が豊富になる
絵本には日常会話とは違う言葉や表現が多く、耳から聞くことで言葉のリズムを自然と覚えていきます。

④ 集中力がつく
はじめは最後まで聞けなくても大丈夫。短い時間でも、絵本に触れる経験を重ねることが大切です。

「読み聞かせをする余裕なんてない…」という方も、寝る前に5分だけ、読み聞かせの時間を作ってみませんか。

お腹の赤ちゃんを楽しむよみきかせ

産前の体調がいい日に、気分転換に絵本を手にとってみませんか。書店等では「ファーストブック」や「赤ちゃん絵本」などのコーナーがあり、初めての絵本選びに役立つ情報がそろっています。市の図書館では、1人10冊まで本を借りることができ、いろいろな絵本を気軽に楽しめます。絵本の世界に大人の心も癒され、赤ちゃんとともにゆったりとした時間を過ごせます。